

# まちづくりの将来像策定に向けた 他都市の事例紹介

## 中央公園プロムナードの現状分析 結果の共有

2025.6.2 第2回中プロ・デザインラボ

松浦 健治郎  
(千葉大学) + 千葉大学松浦研究室



様々な都市で  
メインストリート  
を車中心の空間から  
人中心の空間に  
変えるプロジェクト  
が進行中



中央公園  
プロムナード  
ではどうする？



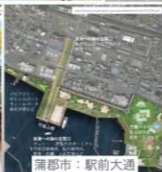
姫路市：大手前通り



松山市：花園町通り



大阪市：御堂筋



蒲都市：駅前大通



四日市市：中央通り

## 中央公園プロムナードの将来像を検討するための3つのステップ

### ステップ1 現状の共有

中央公園プロムナードや  
その周辺のまちの資源・問題点  
って何？

- ・ガリバーマップ
- ・まち歩きワークショップ  
など

### ステップ2 将来像（大きな方向性）の共有

どんな通り・まちを目指すのか？  
「公園のような大通り」・  
「賑わいのある大通り」etc

- ・将来イメージカードゲーム
- ・生活シーンカードゲーム

### ステップ3 将来像を実現する詳細部分の検討

- ・車道と歩道の配分をどうするか？  
（車道を狭くして歩道を広げるなど）
- ・歩道を広げる場合、北と南のどちらを広げる？
- ・歩道の一部に滞留空間を創るなら、どのような滞留空間にする？（イベントができるような。休憩できるような。子どもが遊べるような。緑あふれるetc）
- ・自転車や電動キックボードなどのスローモビリティをどう扱うか？
- ・沿道の建物のデザインガイドラインは必要か？

- ・まちづくりアイデアカード
- ・模型・CGによる景観シミュレーション  
など

## まちの将来像の検討事例の紹介

### 山形県鶴岡市の事例

市民ワークショップによる  
シビックコア地区の沿道  
景観づくり

#### <ポイント>

- ・生活者の視点から沿道景観を検討する
- ・代替案を複数出して、並行して検討していく
- ・模型を使いながら沿道景観のあり方を検討する

### 三重県名張市の事例

市民ワークショップによる  
まちなか再生プラン

#### <ポイント>

- ・これまで検討されてきたプロジェクト提案から優先順位を決めていく
- ・アイデアを具体化するためのシナリオを検討する

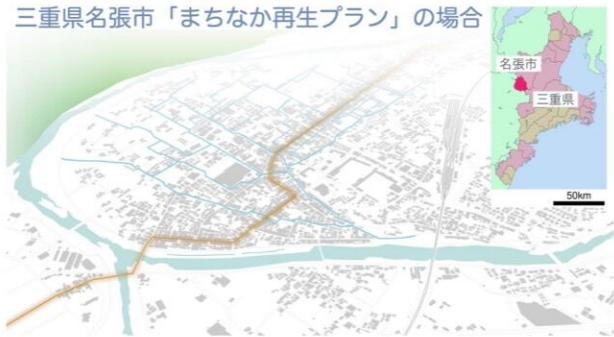
### 三重県鈴鹿市の事例

市民ワークショップによる  
まちづくりアイデアカード  
の製作と実践

#### <ポイント>

- ・小さなアイデアを積み重ねていくことで大きな将来像に繋げていく
- ・アイデアをアイデアカードにまとめて発信する
- ・アイデアの一部を実践する社会実験イベントを開催する

## 三重県名張市「まちなか再生プラン」の場合



## 市民ワークショップのプログラム

第0段階：まちのイメージの共有をする



第1段階：4つのテーマ毎に分かれて既存のプロジェクトの優先順位を付ける



＜市民アンケート調査1＞

市民のまちなかに対する利用と期待を把握する

第2段階：重要なプロジェクト群を実現するためのシナリオを検討する



＜市民アンケート調査2＞

ワークショップで検討したプロジェクトの市民評価を把握する

第3段階：各テーマの拠点を繋げるまちなか散策ルートを検討する



第4段階：まちなか再生プラン素案をまとめる

## 第0段階：まちのイメージの共有をする

### プレワークショップ

2004.7.6

目的：(仮称)まちなか再生プランの目的、ワークショップの役割などを理解します。

概要：(仮称)まちなか再生プラン策定までのプロセス、策定委員会とワークショップの関係などが説明され、ワークショップの進め方が議論されました。

参加：26名

### 名張地区まちなかタウンウォッチング

2004.8.1

目的：策定委員会およびワークショップのメンバーが、まち歩きをして名張地区の地域資源を確認します。

概要：名張地区の歴史的環境を中心とする資源およびウォッチングの仕方が説明されました。まち歩きの後、名張地区の個性につながる資源や問題点が議論されました。

参加：9名



## ■ウォッチングで発見した資源と問題点



ひやわい (路地)

- 【発見】
- ・懐かしさを感じる
  - ・景観が美しい
  - ・ひやわい路地の位置からの景観を感じる
  - 景観は1人で入りにくい



小さな室

- 【発見】
- ・小さな資源が点在している
  - ・季節の風情、瓦、石、木、土
  - ・まち歩きで景観、田舎の風景 etc.
  - まち歩きのリートをつくることで小さな資源つなげていく

公共トイレ

- 【発見】
- ・公共施設内のトイレは数が少ない
  - まちなかの店舗などのトイレが利用しづらい
  - まちなかの店舗等と相談してはどうか？



城下川 (築港水路)

- 【発見】
- ・水路が埋蔵になっていることが多く、水辺が感じられない
  - 水辺が感じられるデザインガイドラインが必要
  - 景観にする箇所を検討したい
  - 埋蔵する箇所とよめてもらい、景観を維持したい

床面を意図したまちへ

- 【発見】
- ・江戸は住宅地の生活と交流が熱く、開かれたイメージ
  - 散歩などの声かけ運動が必要
  - ・駅前の景観が美しい → 名張地区の景観整備を行ってはどうか？
  - ・よく通じる目的がないため、1人では行きにくい



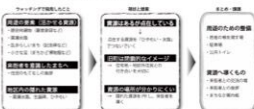
江戸川風歩のまち

- 【発見】
- ・まちなかに小規模な駐車場が散見している
  - ・「アスピア、ふれあい、駅前、町内、名張駅前 etc.」
  - これまま、まちなかに小規模な駐車場を点状させるか？
  - まちの外見部に大規模な駐車場を整備するか？

駐車場

- 【発見】
- ・まちなかに小規模な駐車場が散見している
  - ・「アスピア、ふれあい、駅前、町内、名張駅前 etc.」
  - これまま、まちなかに小規模な駐車場を点状させるか？
  - まちの外見部に大規模な駐車場を整備するか？

## ■ウォッチングのまとめ



## 第1段階：4つのテーマ毎に分かれて既存のプロジェクトの優先順位を付ける

・既存の行政計画及び民間団体の構想から導かれた4つのテーマ（歴史・賑わい・自然・暮らし）毎に分かれて、プロジェクトを検討していくという方式で進行

### 名張地区の4つのテーマ（将来像）

#### (1) 歴史・文化が薫る街

- ・歴史、生活文化拠点（A）
- ・歴史文化資源の活用と保存（D）
- ・愛着のあるまち（B）

#### (2) 自然が感じられる街

- ・名張川や梁瀬水路の自然を生かす（D）
- ・散策がしたくなるまち（C）

#### (3) 誰もが暮らしやすい街

- ・健康福祉を増進するためのまちづくり（C）
- ・豊かな暮らしと交流が広がる街道の街（B）

#### (4) 賑わいのある街

- ・商業の活性化（C）
- ・豊かな暮らしと交流が広がる街道の街（B）

A：名張市都市マスタープラン（1998年） B：名張市中心市街地活性化基本計画（1998年） C：名張地区活性化計画（2003年） D：OLD TOWN構想（2003年）



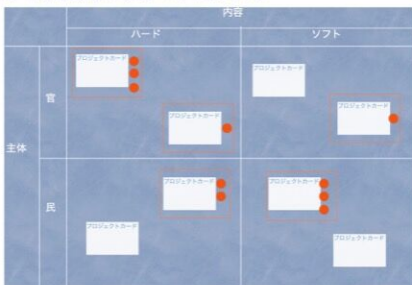


プロジェクトカードの優先順位（自然班の場合）



第2段階：重要なプロジェクト群を実現するためのシナリオを検討する

(1) プロジェクトカードを整理しよう<主体・ハードとソフト>



(2) プロジェクトカードの内容を検討しよう（具体的な中身・役割分担・課題）

| プロジェクトカード  | 具体的内容                  | 役割分担 |    |    |    | 課題                             |
|------------|------------------------|------|----|----|----|--------------------------------|
|            |                        | 企画   | 建設 | 運営 | 利用 |                                |
| 河川敷の<br>利用 | ・イベントの開催<br>・子供の遊び場づくり | NPO  | ?  | ×  | 市民 | ・利用については国土交通省の許可が必要<br>・場所はどこ？ |
| プロジェクトカード  |                        |      |    |    |    |                                |
| プロジェクトカード  |                        |      |    |    |    |                                |
| プロジェクトカード  |                        |      |    |    |    |                                |







## プロジェクトカードのシナリオ（自然班の場合）

| プロジェクト名          | 内容<br>(ハード、ソフト)                                                                                                            | 主体                                    |                   |                        |                    | 実現するための課題                                                  |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------|------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------|
|                  |                                                                                                                            | 企画                                    | 建設                | 運営                     | 利用                 |                                                            |
| ●●●<br>中継に水路をつくる | ・水路をまわす<br>・森の整備（植樹）<br>・食育<br>・育空市<br>・町並み整備<br>・トイレ                                                                      | 地元<br>まちづくり協議会                        | 市役所               | 民間<br>農家（農家）           | 市役所市民<br>（市役所・住宅地） | ・水利組合の許可が必要？<br>・地主の承諾が必要<br>・駐車場（アクセス）が必要<br>・コミュニティバスの利用 |
| ●<br>河川敷の利用      | ・くま川<br>・コミュニティロード、小川の活用<br>・中継への土橋（ファミリー）<br>・自然<br>・青少年育成<br>・アスレチック、カヌー、釣り<br>・ワーキング<br>・年々増える利用者がいる<br>・水質（水質検査が見える場所） | 地元<br>まちづくり協議会<br>NPO？<br>国交省<br>農業組合 | 国交省<br>市役所<br>市役所 | まちづくり協議会<br>市役所<br>市役所 | 市役所市民<br>農家        | ・農業組合の了解<br>・空堀に配慮すべき                                      |
| ●<br>よきリーダーづくり   | ・地域の専門家を呼ぶ<br>・村長候補のいないが<br>リーダーになるべき<br>・まちづくり委員の募集<br>・まちづくり教育（小学生から）<br>・研修・視察（先進事例）                                    | 市役所<br>まちづくり協議会                       | ×                 | まちづくり協議会               | 一般市民               | ・関係団体の協力・調整                                                |
| ●<br>川の駅づくり      | ・駅舎、多用途<br>・観光案内<br>・公民館<br>・機能は道の駅と同じ<br>・施設は生い茂る場所                                                                       | 農工会議所                                 | 国交省？              | 民間                     | 農家                 | ・国交省の了解<br>・用地<br>・お金                                      |
| ●<br>育空市の開発      | ・場所は中継、名産川沿い                                                                                                               | 親会の育空市の<br>民                          | ×                 | 生産者（農家）<br>有志          | 一般市民<br>（近所の人）     | ・生産者の協力<br>・安全の確保<br>・施設の確保<br>・駐車場の確保                     |
| ●<br>国道水路の量販利用   | ・お茶にあげさいを載せる<br>・お茶                                                                                                        | 地元<br>NPO                             | ×                 | 地元<br>NPO              | 一般市民               | ・手入れ（管理）が大量<br>・ゴミの不法投棄                                    |





第4段階：まちなか再生プラン素案をまとめる

(4) 「まちなか再生プラン」の概要

まちづくりの基本目標

**名張らしさを活かして市民が集い交流するまち**

## 2. まちづくりの方針

### (1) 市民に支持されるまちの顔づくり（市民がターゲット）

人口や商業の空洞化によって名張地区の中心性は弱まっていますが、2004年9月に実施したアンケート調査によると約65%の市民が名張市の顔として名張地区の個性化を必要と考えています。新しい住宅地に住む市民からも、名張市が第2のふるさとなるように名張地区の個性化が期待されています。名張地区の住民からも、個性化によって愛着のあるまちになることが期待されています。

このような期待に応えるために、市民から愛着をもたれるまち、市民が集い交流するまちづくりを進めます。

### (2) 名張らしさを活かすまちづくり（地域資源を活かす）

名張地区には初瀬街道沿いの前並みや名張藩家邸、宇波宮志福神社、江戸川歩生園地など豊かな歴史文化資源があります。また、周囲を名張川や山々が取り囲み、まちなかには栗瀬水路が流れ、自然にも恵まれたまちです。これらの地域資源が名張のまちの原風景をかたちづけています。

このような名張らしさが輝くまちを再生することによって、名張地区が市民共通のかけがえのない財産、すなわちまちの顔となるものと考えます。名張地区が誇りと愛着をもって暮らせるまち、市民が集い交流するまちとなるように、名張らしさにこだわったまちづくりを進めます。

### (3) 多様な主体が取り組むまちづくり（市民と行政の協働）

社会の成熟化の中で多様化、高度化する市民ニーズに応えるまちづくりが求められています。

まちづくりの究極の目標は充実した市民生活の実現にあります。そのためには、市民生活の舞台となる物的環境整備のほかに、市民が集い交流するきっかけづくり、暮らしを支える地域福祉の充実などが必要となります。このように多様化する市民ニーズに応えることは行政だけでは限界があります。行政が行うべきこと、地元のまちづくり組織や事業者、商工団体、市民などが取り組むこと、協働して取り組むべきことを理解し、多様な主体が取り組むまちづくりを進めます。

## 3. 将来地域像と5つのプロジェクト

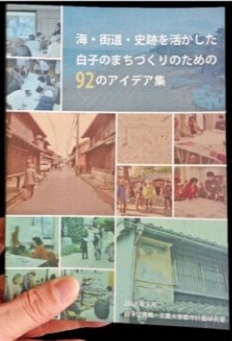




まちづくりアイデアカードの製作  
三重県鈴鹿市白子地区



|                | 実施日             | 検討内容                                                                                                                                               |
|----------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回<br>まちづくり講座 | 2012年<br>10月31日 | <p>基礎的な情報提供の共有</p> <p>おこし紹介<br/>講座「歴史をたどるまちづくりをすすめるために」</p> <p>「ガリバーマップによる地域資源の発見<br/>ガリバーマップ」</p>                                                 |
| 第2回<br>まちづくり講座 | 2012年<br>11月18日 | <p>まち歩きによる資源・拠点地の発見</p> <p>まち歩き（古子地区北方）<br/>・見てきたものとの整理と</p>                                                                                       |
| 第3回<br>まちづくり講座 | 2012年<br>11月29日 | <p>まち歩き（古子地区南方）<br/>・見てきたものとの整理と</p>                                                                                                               |
| 第4回<br>まちづくり講座 | 2012年<br>12月12日 | <p>海・街道・空間を活かした<br/>まちづくりのためのアイデアの検討</p> <p>・アイデアカード・アイデアマップの集約と発表<br/>・アイデアカード・アイデアマップの協議と修正案の検討<br/>・重要なアイデアカードの抽出<br/>・重要なアイデアカードの活用シナリオの検討</p> |
| 第5回<br>まちづくり講座 | 2013年<br>2月19日  | <p>・アイデアカード・アイデアマップの最終案の発表<br/>・最終案に対する修正案の検討<br/>・重要なアイデアカード・重要アイデアの検討</p>                                                                        |



第2回  
ワークショップ

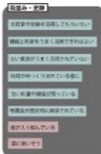
まち巻



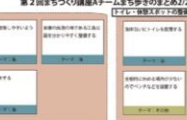
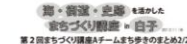
まちの資源・問題点  
の共有

まちづくりのための  
アイデアカードの検討  
その1

まち歩き感想



### アイデアカードの検討



まちづくりのための  
アイデアカードの検討  
その3  
優先順位の高いカードから実現するためのシナリオを検討





場所が特定できるアイデアはアイデアマップとして整理されました。



## <広報活動>

- ・HPの作成
- ・アイデアカード集の発行
- ・新聞等のマスコミへのPR



白子公民館だより

# 白子街道ウォーク2013

参加費：300円  
2013年10月19日(土)  
13時から16時半 雨天の場合は20日(日)

## 散策

散策コース(約10km)  
白子街道を散策し、歴史と文化を学ぶ。散策の途中で、白子街道の歴史と文化を学ぶための資料を配布する。

## アート

白子街道ウォークをテーマにしたアート展を開催する。白子街道の歴史と文化を表現したアート作品を展示する。

## 食

白子街道の歴史と文化を表現したアート作品を展示する。

主催：白子街道ウォーク実行委員会

## <次年度以降>

- ・アイデアの一部を実現するイベントの開催



## 海岸で花火大会を開催する

重要度：●●●

海・川を  
活かす

イベント  
の開催

海岸



シナリオ

白子で海岸で花火大会を開催します。実現のためには、自治会・企業・市民の協賛が必要となります。また、沿岸が手荒れするため、警備による交通規制の協力も必要です。

アイデアの場所



実施主体

自治会・  
市民団体・企業・  
新居市（主催）

実施時期

中旬

※・図説・空想家から見た  
白子のまちづくりのための  
アイデアブック

3/92



花火大会は現在  
も続いています

アイデアカードを  
公開したことで  
多様な主体が  
アイデアを実践  
するように・・・



## 古民家の空き家を子育てサロン として活用する

重要度：●●●

史跡を活かす

古民家・空き地  
の活用

白子子育てサロン



シナリオ

白子にはたくさんある空き家になった古民家がめだっています。古民家を子育てサロンとして活用することによって子育て世代の集まる場所ができて、チームやイベントを開催したり悩みを共有したりと新たな交流の場となります。持ち主との相談、リノベーション費の調達、運営の問い合わせの受付などが必要となります。

アイデアの場所



実施主体

自治会、市民活動  
組織、親睦や社会  
福祉協議会、持ち  
主。

実施時期

短期

※・図説・空想家から見た  
白子のまちづくりのための  
アイデアブック

74/92



鈴鹿市稲生地区で古民家を子育てサロン  
にDIYコンバージョン

## 古民家の空き家の利用システム (貸出・紹介)を整備する

重要度 ●●●

史跡を活かす

古民家・空き地  
の活用



シナリオ

自市にはたくさんのおき家になった古民家が点在しています。これらの使われていない古民家を紹介する空き家バンクのシステムを整備することで、スムーズに古民家の活用することができ、おき家の減少につながります。市民が主体となって持ち主と連携しながら取り組んでいく必要があります。

アイデアの場所



実施主体

千葉県・  
不動産会社・  
持ち主

実施時期

中期

国・自治体・民間が連携した  
取り組みを行うための  
プラットフォーム

71/92

## 空き家活用をしている団体とのコラボ

Shin-C-CO

千葉県から空き家活用の推進をしています

第一編 メンバー紹介 第二編 空き家バンク 第三編 空き家バンクの活用 第四編 空き家バンクの活用 第五編 空き家バンクの活用



## 千葉大学工学部建築学コース3年生・大学院生による公開研究会・展示会 千葉市の顔としての中央公園ブロムナードのリデザイン 公園のような大通り

**発表会**  
(仮称) 中プロ・  
デザインラボ (第1回)  
日時: 2月21日(金)  
午後 1時半~4時  
会場: 千葉市役所本庁舎1階  
イベントスペース



千葉市中心部のJR千葉駅東口と中央公園を結ぶ「中央公園ブロムナード」は、戦後復興都市計画により整備されました。千葉市のメインストリートである一方で、沿道や中央公園沿いの大手百貨店等が撤退し、千葉駅周辺に商業機能が進んだことで回遊性がなくなりつつあるといった問題も抱えています。このような現状分析を踏まえて、千葉大学工学部建築学コースの3年生および大学院生が「車中心」から「人中心」の「公園のような大通り」となるような都市デザインを市民の皆様に共有し、その実現方法について議論できればと考えています。

松浦 健治郎  
千葉大学工学部建築学コース 准教授

# 現状分析編

## 中央公園プロムナードの歴史

## 現況分析編

### 県都千葉の誕生



### 複数の千葉駅



# 中央公園プロムナードの道路の変遷

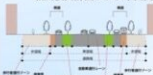
現況分析編

1960年頃～

30年間



戦災復興計画による平面図



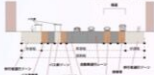
戦災復興計画による断面図

1989年～1999年

10年間



モノレール建設時平面図



モノレール建設時断面図

1999年～現在

25年間



現状平面図



現状断面図



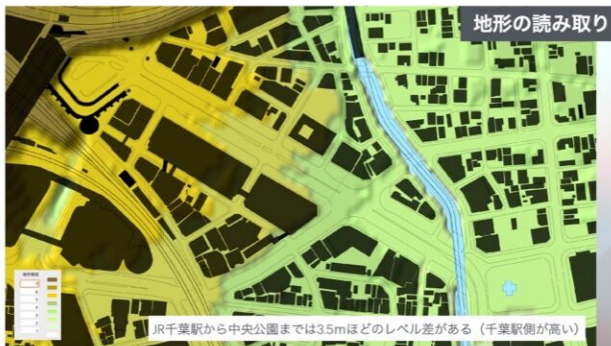
1960年頃の駅前大通り（造成中）

出典：小川順一（2024）『まち歩きガイド千葉駅中心』



現在の駅前大通り（Googleマップより）

蒸気機関車は中央公園プロムナードに比べて  
高い位置を走っていることが分かる

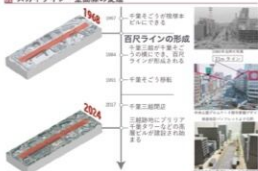




# 中央公園プロムナードの沿道建物の分析

現況分析編

## 31 スカイライン・壁面線の変遷



中央公園プロムナードのスカイラインや壁面線の変遷を見ると、駅北ビル（旧千歳三郷ビル）によって形成された100m（31m）ラインや壁面線が形成されていることが特徴として挙げられます。現在、駅北のプリリタタワー千歳はかつての100m（31m）ラインをデザインとして継承しています。その一方で現在、建設中のマンションでは100m（31m）ラインのデザイン的な表現は見られません。



## 32 現状の築年数



新築基準（1981年）以前の建築物が14件/77件と半数以上であることが特徴的です。これらの建物は老朽化や耐震性の懸念から、今後10年間で建て替えが予想されます。

## 33 現状の建物高さ



建物の高さや築年数を比較すると、近年、建設された建物は高層化が顕著であることが分かります。古い建物の高さにギャップがあるため、スカイラインはあまり関係がないのが現状です。

## 34 現状の壁面線



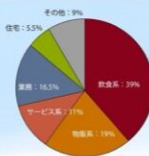
沿道建物の壁面線を分析した結果、ほとんど揃っていることが分かりました。

# 中央公園プロムナード沿いの建物の用途現況

現況分析編



【0】 沿道建物の用途現況



【1】 階部分の用途別面積の割合

・1階の用途は商業施設（飲食系・物販系・サービス系）69%と多く見られます。

・通りに面した壁が広告として使われているなど、建物内部の賑わいが通りに伝わりやすくなっています。



現在建設中のBria Tower千歳やエクセレント千歳駅前タワーなど、中央公園プロムナード沿いにはマンションが多く建っていることから、駅前の好立地を踏まえて住宅需要は高いことが分かります。





# 中央公園ブロムナードで行われているイベント

現況分析編

## CSP プロジェクト (Chiba SDGs Parklet Project)



- ① 中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内
- ② 中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内
- ③ 中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内



### 凡例

- ① CSP プロジェクト (Chiba SDGs Parklet Project)
- ② ちば富士見屋台横丁
- ③ パラソルギャラリー

## パラソルギャラリー



中央公園ブロムナードでは幅の広い歩道を活用したイベントが多く開催されています。3つのイベントは全て北側の隅があたりやすい場所で開催されているという共通点があります。

## ちば富士見屋台横丁



2017年、中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内、中央公園ブロムナード公園内

## 三つの特色エリアで構成される千葉駅周辺

千葉大生の分析結果です。

## 観光・自然 エリア



千葉公園



裏千歳

## 生活エリア

千葉駅

中央公園ブロムナード

## 商業・歴史・文化 ・観光エリア



千葉神社

### 凡例：

- ① 東エリア
- ② 西エリア
- ③ 北エリア

0 400m

「PFS16夏あそび」は2024年に「千葉JPFドーム」で開催され、過去最多の入場者数を記録し、会場は大いに賑わいました



千葉JPFドーム

2019中央公園と千葉公園を繋ぐプロムナードの整備が計画されました。



千葉公園

千葉JPFドーム

千葉公園芝庭

千葉中央図書館

「芝庭 自転車祭」や「クリスマス・ナイト」などのイベントが、千葉公園の新エリア「芝庭」で開催され、多くの来訪者が訪れています



2024年から、ちこほこ（千葉公園通りホコ天）が定期的開催されています。



## 観光・自然エリア（北）

千葉駅

2020年、千葉駅西口地区の再開発事業は完了しました。駅前広場、ペDESTリアンデッキなど新しい施設が整備され、交通利便性と都市機能の充実について市民から肯定的な評価が得られました。



千葉駅西口地区

選手バ（を中心とする千葉駅西エリアでは「補助会に頼らず」「すでにある資源（遊休空間・オープンスペースなどの空間、人、コンテンツなど）を活かす」ことで、地域課題の解決をはかることなどを目指した取り組みが進められてきました。



グッドネイバースクール

千葉駅西口地区

千葉駅

京千葉支社跡地

2020年、京千葉支社跡地について、JR東日本は千葉市民会館を含む商業、業務、宿泊機能などで構成される複合ビルの建設を検討しましたが、計画の具体化が必要となり、建設計画の目的は立っており、駐車場として暫定利用されています。



京千葉支社

千葉駅からポートタワーを繋ぐ臨海プロムナード沿いの賑わい誘導が計画されています。

高千葉エリア

## 生活エリア（西）



臨海プロムナード

2016年の千歳駅周辺の活性化グランドデザインでは、中央公園プロムナードは明確に位置づけられていません。

2010年、築まちづくり再生本部が『築まちづくり再生計画最終案』を発表しました。その中で『みんなに愛される平和の門前町を創る』ことが提唱されました。

通町公園では「通町門前市場」、中央公園では「千歳鶏子三代夏祭り」などのイベントが開催されています。



CHIBA SDGs Parklet Project

西銀座地区では、西銀座再開発準備会により、一体的な再開発に向けた検討がされています。



千歳鶏子三代夏祭り



2024年、中央公園・通町公園・千歳神社の連携強化方針に基づく通町公園の基本計画の見直しがありました。



源本ビル

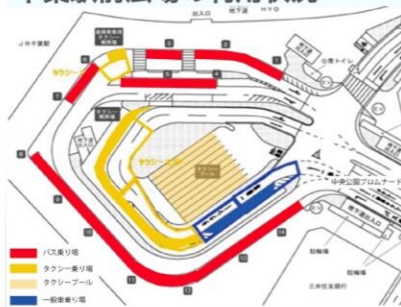
## 商業・歴史・文化・観光エリア（東）



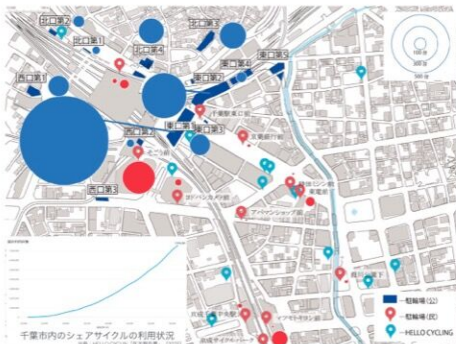
通町公園将来像



## 千葉駅前広場の利用状況



・バス・タクシー・一般車の発着の割合は概ね1/3ずつ



・千葉駅周辺に大規模な公営・民営駐輪場あり

・中央公園プロムナード沿いについては南側に民営の駐輪場が多く分布

・シェアサイクルの利用は年々、増加傾向にある

## 駐輪場の分布と利用状況

## 葭川について

・交差点などで歩道の分断が5箇所あり

・橋付近に休憩スペースが8箇所あり



●道路の接続が分断された箇所



横断歩道がなく、交通を迂回らなければならない。

●休憩場所



橋付近に座れるスペースが何ヶ所がある

## 葭川について

・交差点などで歩道の分断が5箇所あり

・橋付近に休憩スペースが8箇所あり



●滞留空間



文化空間やイベントスペースとして活用可能

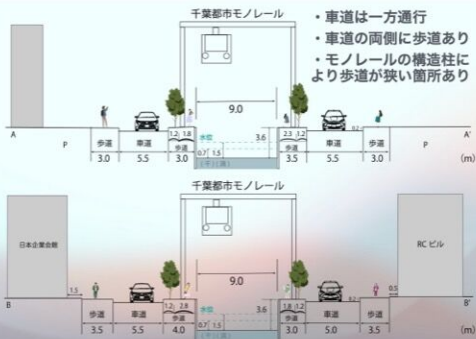
●危険な場所



道路が急に狭くなる場所や保たれていない箇所、何か所かライトが漏れている箇所がある。

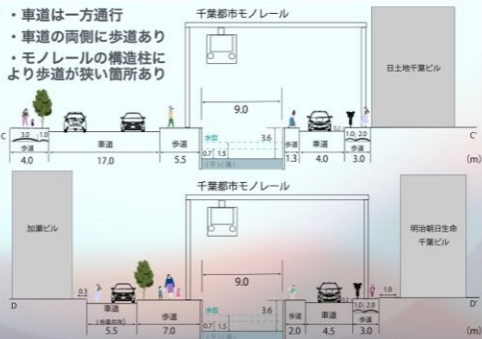
## 葭川 について

断面図



## 葭川 について

断面図





## 魚眼マップ

当館周辺にとって展開されたマップ。近くのモノは大きく見え、遠くのモノは小さく見える特徴を持つ。



## ガリバーマップの作成

中央公園プロムナード及び周辺の資源・問題点・まちづくりのアイデアを考えよう！！

ガリバーマップとはまちづくりワークショップでよく使われるツールで、「ガリバー」になったつもりで地図の上を歩き回りながらまちの資源・問題点・まちづくりのアイデアなどを書き込むゲームです。

3種類のポストイットに内容を書き込んで該当する箇所に貼っていきましょう！！

青い  
ポストイット



まちの資源

赤い  
ポストイット



まちの問題点

黄色い  
ポストイット



まちづくりの  
アイデア